

## 平成 30 年度 第 3 回江別市社会教育委員の会議 会議録

### 1 開催日時

平成 31 年 2 月 20 日(水) 15 時 00 分～16 時 00 分

教育庁舎 大会議室

### 2 出席者

○社会教育委員 8 名

高木委員、佐藤委員、石川委員、木島委員、辻委員、藤田委員、  
神保委員、浅野委員

(欠席：伊藤委員、井上委員)

○教育委員会 萬教育部長、伊藤教育部次長

生涯学習課 天野課長、鈴木生涯学習係長、辻本主査、杉山社会教育指導員

スポーツ課 三浦課長

情報図書館 山本館長

郷土資料館 櫛田館長

### 3 開催結果

(1) 開 会

(2) 教育部長あいさつ

(3) 第 9 期江別市社会教育総合計画の策定について

- ・平成 30 年 2 月 22 日教育委員会から社会教育委員の会議へ諮問
- ・平成 30 年 1 月 13 日平成 30 年度第 2 回の社会教育委員の会議において計画策定についての答申がまとまり、12 月 17 日に高木委員長から教育委員会に答申書を提出。
- ・平成 31 年 1 月 29 日開催の定例教育委員会で、計画の策定について承認
- ・今後、製本までの間、文字スタイルやレイアウトなどの軽微な修正については事務局で見直しを行い、製本された計画書については、公民館等の公共施設等に配置するほか、市ホームページでの公開を予定している。
- ・委員の皆様には大変ご尽力をいただき、教育委員会の承認をいただくところまで進められたことにお礼を申し上げ、計画策定についての報告としたい。

(質疑等 → なし)

(4) 平成31年度社会教育予算(案)に係る主要事業・補助金について

(H31年度社会教育予算(案)に係る主要事業調書、H31補助事業一覧に基づき、各課から説明)

(質疑等)

<質問>

・主要事業調書P.12において、「野幌太々神楽保存会補助金」と「野幌太々神楽伝承会補助金」の2種類があるが、この違いは何か。具体的な活動内容などを教えてほしい。

<事務局>

・野幌太々神楽に関する団体としては、「保存会」と「伝承会」がある。元々は、「保存会」が文化財である野幌太々神楽の保存団体として西野幌地区の野幌神社の氏子さん達を中心として活動している。

一方「伝承会」は、「保存会」での保存活動を市民の立場で支援していこうということで、市民有志で構成されている団体であり、保存会の活動を支援しつつ、求めがあれば厚別区などにも出向いて神楽を披露したりしている。「保存会」と「伝承会」がお互い協力しつつ、野幌太々神楽を継承していっているという状況である。

<質問>

・社会教育総合計画の中にきれいな古墳の写真が出てくるが、機会があったら見に行きたいと考えている。知り合いに聞いたところ、草が生い茂っていて見えない時期あるため、整備された時期に行った方がいいという話を聞いた。古墳の周りを整備するような予算というのは確保されていないものなのだろうか？

<事務局>

・市内には古墳群のほか文化財がいくつかあり、適宜パトロールも実施して掲示物や文化財自体の破損等があれば随時修繕は行っている。古墳群についても、年に1回草刈は行っているが、近傍にアオサギの営巣地があり、草刈の実施時期については市の環境課等と調整して行っているところである。そういった事情もあり、タイミングによっては草が茂っている時期にあたることもあるかと思う。

<質問>

・見に行くのはいつでも可能ということではないということか。

<事務局>

・古墳群を見に行くこと自体に制限はなく、いつ見に行ってもらっても構わないが、草刈については先程申し上げた事情もあり、常に草を刈った状態ではないこともご理解いただきたい。

<質問>

・スポーツ課の新規事業が2点掲載されており、ラグビーワールドカップとスペシャルオリンピックがあるが、江別もそういった世界規模の大会や組織を受け入れられるだけの基盤ができているということを確認できた。せっかくの機会なので、この2つの事業に関して、「こういうことをしてみたい」「こういった人達に見てもらって感じてもらいたい」といったことがあれば、この場でPRしていただければと思う。

<事務局>

・ラグビーワールドカップの公認キャンプ地受入に関わる事業については、今年の9月にラグビーワールドカップの試合が札幌で開催され、9/21にオーストラリアとフィジーが、9/22にイングランドとトンガが対戦する。江別市の公認キャンプ地の対象となっているのがオーストラリアのチームで、9/21より前に江別市内にあるラグビー場でキャンプを行うことになっている。キャンプに伴い、9月中に地元の小中学生、高校生、大学生を含めてオーストラリアに関わる方々との交流事業を実施したいと考えている。また、試合前に江別入りした際には、ウェルカムセレモニーも企画しているところである。

(その他質疑等 → なし)

<高木委員長>

・補助金交付については先ほど生涯学習課長から説明があったとおり、社会教育法13条の規定により社会教育委員の会議の意見を聞いて執行することになっている。そのことを踏まえて補助金に関しても意見等はないか。

(その他質疑等 → なし)

<高木委員長>

・様々な団体への活動に対して補助金が出されており、色々な会議や講演会等に出席して感じることは、やはりただ学ぶだけではなく、学んだことを地域に還元していくことへの一因になって欲しいという思いがある。補助金を受けた事業で学ぶことや体験することはもちろん自分のためにもなるが、それだけに留まらず、次のステップとしてそれぞれの団体が新たな展開や試みを実施していくべき段階に来ていると思う。

明日女性協の交流会もあるが、女性の力をどうやって地域に還元できるかという点が大きなテーマになっている。生涯学習・文化振興・青少年教育など、多くのジャンルがある中で、江別という地域を見つめたうえで事業展開されていくということが、まちづくりに繋がっていくのではないかと思う。

補助を受けている団体は、ぜひそういったところも考えて活動されていくことを切に願っているところであるので、この場を借りてお願いしたいと思う。

(その他質疑等 → なし)

<高木委員長>

・それでは、ここに提出された平成31年度予算(案)に関わる主要事業及び補助金の交付について、社会教育委員の会議において確認したということにするがよろしいか。

(委員一同 → よし)

(5) その他(生涯学習係長から説明)

・冒頭でも触れたが、社教情報の最新号が発刊されたので委員のみなさまに配布していた。ぜひお持ち帰りいただいてご一読いただければと思う。

・先月1/28に平成30年度第1回勉強会を実施した。普段聞けないような細かい話や、それぞれの団体での現場の意見を聞くことができ、私自身大変有意義な勉強会となった。平成30年度は、計画策定に係る専門部会の開催回数も多かったため、勉強会は1度しか開催できなかったが、31年度は複数回開催できればと思っている。社会教育委員の本会議は夏(8月頃)と冬(2月頃)の2回を予定しているので、本会議の合間の時期に勉強会を実施できればと考えている。

議題等は正副委員長と都度相談して決めていきたいと思うが、非常に中身の濃い時間となるはずなので、都合が合えばぜひご参加いただきたい。

<高木委員長>

・みなさんはそれぞれの地域や団体で活動されていると思うが、なかなか公式の場で言いつらいこともあるかと思うし、ざっくばらんな討論の中から出た意見等が社会教育委員の本会議で活かされることもあると思う。前回も非常に楽しい勉強会だったので、実施が決まったら、みなさんまたよろしく願います。

(6) 閉 会

16時00分終了

